

特殊鋼材の脱炭層除去に活路、 新サービス確立で新分野を開拓



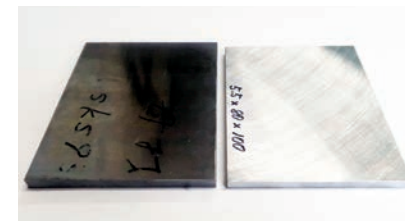
本社屋



本社工場の現場



導入した両頭側面加工機



脱炭層(黒皮)除去前(左)と除去後(右)のゲージ鋼板

事業内容

特殊鋼材の切断販売、 「顧客の材料倉庫」で地域貢献

同社は特殊鋼の材料(炭素鋼、炭素工具鋼、合金工具鋼、高速度工具鋼など)の切断・販売を手がけている。昭和33年の創業以来、50年以上、大阪市周辺の金型や鋼材などを手がける顧客をメインに地域のものづくりの発展に寄与してきた。現在、「顧客の材料倉庫」として多種多様な在庫を取りそろえ、特殊品の切断・加工技術、仕入ネットワークを駆使して顧客の要望に応えている。

薄板加工と3Sが武器、 ベストパートナー目指す

もっとも得意とするのが、工具、包丁などの刃物用や測定ゲージなどの特殊合金の鋼材で、10mm以下の薄板の加工だ。坂口和久社長は「現在、日本で特殊鋼の薄板定尺母材で研磨品を提供できるのは、うちだけ」と胸を張る。この強みと「スピード」、「サービス」、「セーフティ(安心)」の基本的3Sを武器に、最良の材料や加工の提案による顧客のベストパートナーを目指している。

補助事業

両頭側面加工機を導入、 特殊鋼板の脱炭層除去

現在、顧客は脱炭層(黒皮)付きの薄い特殊鋼材を購入し、黒皮を除去して各サイズに裁断、切削、表面処理(焼き入れ)して測定ゲージや金型などを製造している。その際の焼き入れ時に脱炭層が少しでも残っていると割れが生じるが、脱炭層除去の判断は顧客には難しかった。そこで両頭側面加工機を導入し、この脱炭層をロータリー研磨機で完全除去後、顧客の求めるサイズに加工して供給する。

NC旋盤で丸棒型鉄鋼材料にも展開 航空機部品狙う

丸棒型の鉄鋼材料にも脱炭層除去の課題がある。さらに、直径200mm—600mm、長さ400mmのサイズは、仕事がわずかで利益も低く、後継者不足などから加工できる業者が減っている。同社は将来の航空機部品への展開をにらみ、この大きさが加工できる複合型NC旋盤(ターニングセンタ)を導入、穴開け、溝入れなどで、受注につなげていく。

具体的成果

利益率30%アップ、他府県からも注文

両頭側面加工機の導入で、薄板に関して厚さ1mm—10mm、幅5mm—300mm、長さ40mm—500mmまで、脱炭層を完全除去し、焼き入れ時に割れのない自由サイズの特殊鋼板の供給ができた。同時に大型製品の内製化も図れ、納期も2日短縮し、翌日納品も実現した。従来より高い加工費が得られ、クレームもなく内製化できたことで利益率は約30%アップ、社員のスキルもアップした。「京都や名古屋から注文も来始めた」と坂口社長は目を細める。

顧客の生産効率化実現、 次期に航空機分野にもらむ

丸棒型鉄鋼材料においても焼き入れ時に割れのない脱炭層除去が実現した。同社で除去することで顧客は、除去用の切削加工機はより生産に直結する付加価値の高い精密加工や穴あけ・ねじ切りなどに使用し、生産性向上につながった。複合型NC旋盤は平成28年7月に稼働したばかりで、受注はこれからだが、「手薄サイズの加工品が将来、航空機用部品に」と坂口社長が狙うように、名古屋や神戸の航空機部品メーカーからタービン向けのチタンやステンレスの母材の加工の引き合いも出てきた。

今後の戦略

刃物、金型、航空機に新たな展開の兆し

両頭側面加工機の導入により、特殊鋼ゲージ向けに、切断までムダのない一貫した加工と販売体制が構築でき、他社が真似のできない事業の基礎が築けた。薄板に関しては徐々に受注も増え、刃物製造業者からの発注も来はじめた。さらに坂口社長は金型向けも狙う。「切削工具の形状から曲面になるプラスチックやゴム金型のコーナー部分にこの薄板を差し込むことで直角を実現できる」と応用展開に期待する。一方、複合型NC縦型旋盤の導入による丸棒型鉄鋼材料への展開はこれから。タービンに使われるチタンやステンレス合金などの母材とする航空機部品への展開が期待できそうだ。

新サービス体制の確立で6億円を目指す

同社の表面処理(脱炭層除去)サービスは「欲しい鋼材を欲しい時に、欲しい量をすぐに使える状態で」供給する体制につながる。対象となる鋼材市場は建築、工作機械、自動車などの産業で金型や工具などの重要部分を支えることから「この供給体制が本格的に稼働すれば、月5,000万円を売り上げ、年間6億円も夢ではない」と坂口社長は意気込む。小さな鋼材屋の大きな挑戦が始まっている。

坂口鋼材 株式会社

代表取締役 坂口 和久
〒537-0001 大阪市東成区深江北3-5-25
TEL. 06-6976-6561 FAX. 06-6971-6234
資本金/14,000千円 従業員/9名
主な取引先/大阪精密測定機器工業会各社、日立金属工具鋼(株)、粟井鋼商事(株)、扇鋼材(株)
主な保有設備/複合NC縦型旋盤、バンドソー切断機、両頭フライス機、ロータリー研磨機、平面フライスなど
主力製品/特殊鋼材・一般鋼材の販売および加工、鉄鋼二次製品の販売

短納期 企画力 小ロット OK オンライン 海外 対応 試作 OK 連携力

3Sを基本精神に、 日々の努力で皆様のニーズにお応えします

代表取締役 坂口 和久

当社は「スピード」、「サービス」、「セーフティ(安心)」の3Sを基本精神に、社員が日々、成長し努力することで、皆様の「こんな材料が」や「このサイズが」のニーズに応えるベストパートナーを目指します。



取材を終えて

なくてはならない存在、 大輪の花咲く気配

坂口和久社長は「平成11年の40歳で社長になってから良いことはない」とぼやく。しかし、同業者の廃業や大手の不採算部門の撤退など、同社を取り巻く環境は大きく変わってきており、今やなくてはならない存在になっている。長男であり、人手不足から大学進学をあきらめた経緯などを聞くだけで苦勞をされてきたことがわかる。それだけに一言一言に重みが感じられ、深く心に響いた。良い成果となることを祈りたい。

<http://sakaguchi-kouzai.co.jp/>